



一般社団法人
日本胡麻協会
Japan Sesame Association

広げよう
ごま
で
幸
せ
づ
く
り

日本胡麻協会 会報

【第29号 2020年4月1日発行】

〒604-0845

京都市中京区烏丸御池上る 二条殿町546

NT都ビル9階 わだまんサイエンス内

TEL: 075-222-7318 / FAX: 075-222-0318



皆様こんにちは！（胡麻握手！）

最近はコロナウィルスのお話ばかりが目立ちますね！

このコロナウィルスですが、考え方によってはプラスにも取れることが大いにあることを感じています。

それは「気が付かないことを教えてくれている」ということです。

そもそも「ごまで世界平和」を口指すうで最終的にはお金の存在しない「物々交換」の世界こそが 真の平和であると思っていたからです。

コロナウィルスで教えてくれたことには、あたりまえであったものへの会社愛、家族愛、地球愛があります。

予定していた出張が無くなり、会社や家族とのだんらんが増えたことで、忘れていた大切なものを教えてもらいました。

だからコロナウィルスを敵視するのではなく、コロナウィルスに感謝してみることが 今求められていると思えて仕方ありません。

非行に走った我が子を見捨てるのではなく、「おまえがいくら悪くてもおまえを信じているよ」と心から言える親であるように。。。

皆さん 思い切ってコロナウィルスに感謝してみませんか？

今はその時だと思えますよ！

話は変わりますが、今年は日本に目を向け、高齢化社会における

ごまの健康と幸せづくりに

チャレンジしたく思っております。

介護施設なども回ろうと思っております。

またそういった可能性がある方は

是非ごまの所作を教えてあげてください。

私、深堀だけでは限界が来ているからです。

重ねてお願い申し上げます。

さあ。本年度も ごまで世界平和を

一緒に実現していきましょう！

心からの感謝を込めて

理事長 深堀勝謙 拝



感想文：3月13日 セサミマイスター講習会

◆長村 義美

コロナウィルスの蔓延で デパート催事が減って、講習を再度受けるチャンスを得ました。お客様が ごまに対して 頭で記憶されるのではなく身体で(腹)記憶して頂く為に、販売する者の ごまに対する感謝と所作にお客様が感動覚え、その感動が知人や友人に伝えたくなる様に見せるのがプロであると思いました。

お客様は、ごまに対してのお金を支払うと考えるより ごまもさる事ながら 胡麻を搗く人、そして お客様とごまに感謝して 世の為 人の為に役に立つ人にお金を預けるのだと考えました。

しかし、コロナの影響がまだまだ続きそうですのでユーチューブ等で ごまの感動を 一般の方々に広く知って頂ける営業活動が急務になっている気が ふつつつ湧いて来る講習会でした。

◆藤本 仁平

講習を受けさせていただくのは何回目になるのだろう。

毎回 内容が濃くなっていくので その新しい情報を 日々の仕事に取り入れて 自分のものにしていかなければと感じました。

講習を受けるたびに ピシッと身を引き締めることができます。

ひとつひとつ思いを込め、自分の至らないところや未熟な心を改めて、これからも皆様へ心が伝わる胡麻になるように作っていきたいです。

◆石田 敦子

所作の基本を身につけるということは、とても大切なことだと実感しました。

自分の心が そのまま胡麻に伝わるので その胡麻を食べた方が 美味しいと感じるのも 苦いと感じるのも、胡麻を搗く人の心次第だと実感しました。

所作の中で 相手の健康と幸せを願いながらパンパンとたたく時、自分の邪心も払われることを感じました。

これからは さらに心を大切にしていきたいと思います